

アルファ・ラバル オンラインセミナー（ウェビナー） ご質問回答

ご参加の皆様、たくさんのご質問ありがとうございました。

頂戴しましたご質問への回答は、以下に示しますので、ご参照ください。

その他、ご不明点、ご質問ございましたら、アルファ・ラバルの営業担当者までご連絡ください。

テーマ： 代替燃料に対するアルファ・ラバルのソリューション

実施日時： 2020年6月3日（水）

No.	ご質問	アルファ・ラバル回答
[Part 1 : Dual Fuelボイラ]		
1	LNG燃料以外に燃焼できる燃料はありますか？	現在製品化しているのはLNG燃料焚きのシステムのみでございます。 弊社としてはそれ以外の代替燃料に関しても、マーケットニーズを踏まえ、ラインアップを拡充したいと考えております。
2	GCU functionは、どれくらいの費用がかかりますか？	ボイラー、バーナータイプや蒸発量により変わってきますが、DFボイラー価格のおおよそ20%程度になるかと思えます。
3	DFボイラーでのトラブル事例などございましたら、ご教示ください	具体的なトラブル事例に関しては説明を割愛させていただきますが、3つサービス拠点での部品の在庫、知識をもったエンジニアによるサポート対応をさせて頂く事でご満足いただける運航をサポートさせて頂いております。
4	船陸間通信サービスは具体的にどのようなサービスですか？	ボイラーのオペレーション状況をリモートで監視致します。 蓄積された情報から最適なメンテナンススケジュール、予備品等のご提案が可能です。 詳細に関するご興味がおありであれば、弊社アフターサービス部門よりご紹介させていただきます。
[Part 2 : 代替燃料の燃料コンディショニングシステム]		
1	LRからのお墨付きについて、もう少し詳しく説明をお願いします	2017年10月に「Statement of Fact（鑑定書）」が発行されています。 これには、「HSFOからLSFO、もしくはLSFOからHSFOへの切り替えに関し、キーとなる粘度と温度の勾配を制御する点において、自動切り替え機能は本要求に対して十分な制御且つ安全に実施できる」とあります。 詳細は、添付にてご確認ください。
2	FCMにおけるコネクティビティ機能は、どのようなメリットを提供するのでしょうか？	FCM Oilでのコネクティビティでは、本船データを陸上でも確認可能です。 トラブルシューティングに対する遠隔支援、アラーム状況の確認などのメリットがあります。 また、MeOH用LFSSでも実施可能です。
3	LNG用の燃料供給装置は既に製品化されていますか？ もしくは今後、製品化される予定はありますか？	LNG用FGSSは、開発を一時中断しております。 高圧用・低圧用とも2021年からの再開を予定しております。

2020年6月8日（月）発行